

大阪医学統計学セミナー第112回

Osaka Biostatistics Seminar

11月13日（金）
16：00～17：00

「再発事象を伴う臨床試験のためのイベント駆動型デザイン」

講演者：張　競文
(大阪大学大学院 医学系研究科 医学統計学講座)

概要：
通常の生存時間アウトカムを用いる臨床試験では、目標イベント数に達した時点で解析を行うイベント駆動型のデザインをとることで、検出したい治療効果に対する目標の検出力を、他のパラメータに依存することなく保証することができる。一方、再発事象をアウトカムとする場合、イベント間に相関がない場合には同様のイベント駆動型デザインを適用できるが、被験者内相関が存在する場合には、再発事象間の相関構造を適切にモデル化する必要がある。試験計画段階での相関に関する情報は限られており、想定が適切でない場合、検出力不足の試験となる可能性がある。本研究では、この問題に対するイベント駆動型デザインを提案する。周辺モデルに基づくロバスト分散を盲検下でモニタリングし解析時点を決定することにより、検出する治療効果以外量の設定に依らず、目標とする治療効果に対する目標検出力を確保する。数値実験と実データ解析により提案法の有用性を議論する。

OSAKA UNIVERSITY

場所：
医学系研究科基礎研究棟L階
医学統計学研究室
オンライン併用開催

参加ご希望の方は、前日までに
下記メールアドレスまで
ご連絡をお願いいたします。

office@biosatat.med.osaka-u.ac.jp

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科　医学統計学講座
E-Mail：office@biostat.med.osaka-u.ac.jp　TEL：06-6879-3301